

第51回岡山臨床精神薬理研究会のご案内

日時：平成29年7月28日（金） 19:00～21:00

場所：岡山大学病院 総合診療棟 東棟5階
第5カンファレンスルーム

参加費：無料（予約不要です）

岡山大学精神神経病態学教室では、精神科領域の薬物療法をテーマとした講演会を年2回開催してきました。今回、テーマを精神科以外の先生方や研修医の方にも関心が持てる内容を含めることで、学生、コメディカルスタッフにも参加可能なものにしたと思っております。興味のある多くの方々の参加をお待ちしております。

特別講演Ⅰ

座長 武田 俊彦 先生（慈圭病院副院長）

矢田 勇慈 先生（岡山県精神科医療センター）

「クロザピン血中濃度測定の実用性」

～岡山県精神科医療センターでは、国内臨床においてルーチンでは測定できないクロザピン血中濃度測定を行っておりその実際と、臨床研究について紹介する。また、一般的な抗精神病薬血中濃度測定の実用性についても解説する～



井上 真一郎 先生（岡山大学精神科神経科助教）

「せん妄に対するアセナピンの好適症例とその有用性について」

～せん妄の薬物治療では、薬理学的特性や副作用プロフィールを考慮した薬剤選択が求められる。せん妄を認めた患者にアセナピンを投与し、効果を認めた症例を経験した。せん妄に対するアセナピンの好適症例や有用性について解説する～



特別講演Ⅱ

座長 山田 了士 先生（岡山大学精神神経病態学教授）

賀来 隆治 先生

（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学 助教）

「神経障害性疼痛に対する薬物療法」

～ペインクリニック外来においてみられる、難治性・慢性の神経障害性疼痛について、その病態、発生機序に関して概説し、ペインクリニック外来で現在行われている薬物療法について、症例を示しながら解説する～

